

## 2.6.4 スペースの必要性について

摩擦（引張，圧縮）型アンカーは，主にグラウト材と周面地盤との付着により引抜き抵抗を確保している．そのため，セントライザーやスペースを取り付けることで，アンカー体 tendon のグラウト被り厚を十分に確保するよう規定している．

これに対し，くさび型では周面地盤の反力により引抜き抵抗が確保されるため，グラウト材はアンカー体拘束具と周面地盤との間詰め材の役割を期待するものとなっている．そのため，スペース等による拘束具のグラウト被り厚の確保は必要としない．

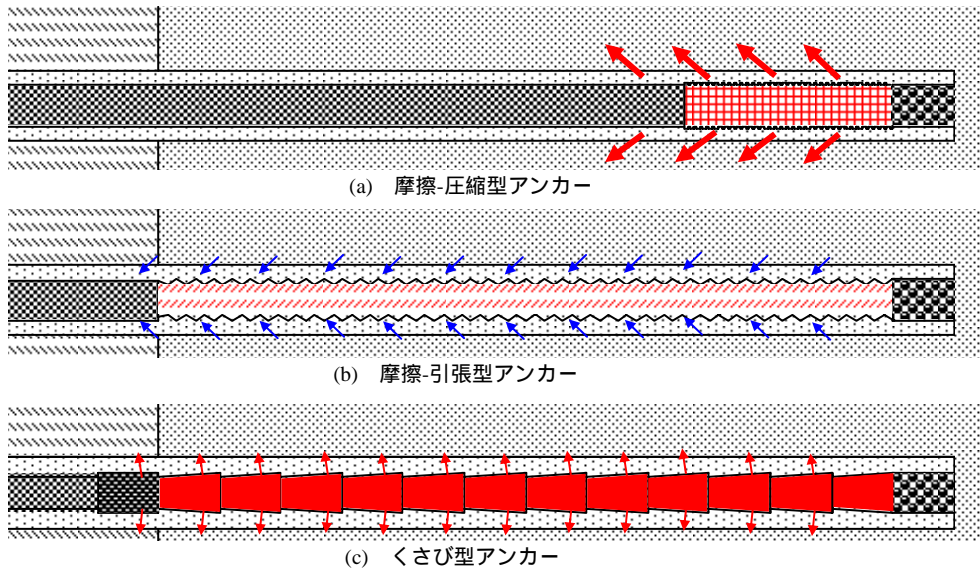


図 2.6.1 アンカー形式の比較